11月は岐阜県男女共同参画推進強化月間です

岐阜県では、男女共同参画への関心と理解をより一層深めるため、県の条例において、毎年 11 月を「男女共同参画推進強化月間」と定めています。ぜひこの機会に、男女共同参画について考えてみませんか。



男女共同参画とは？

性別にとらわれず、一人ひとりが尊重され、自分の個性や能力を十分に発揮できる社会を目指す取り組みのことです。

たとえば・・・

家庭では ➡ 家事や育児、介護などを夫婦（家族）で協力し、お互いを尊重し合う。
職場では ➡ 性別に関係なく、能力に応じた挑戦やキャリア形成に取り組む。
地域では ➡ 自治会や地域活動の場にて、性別で役割を固定せず幅広く役職や運営等に関わる。

男女共同参画社会が実現すると…

お互いを尊重し役割や責任を分かち合うことで“家庭生活が充実”し、働き方の多様化が進むことで“職場に活気”が生まれます。また、多様な意見が地域活動の場に届くことで“地域力が向上”します。

市は、こんな方針を掲げています。

郡上市男女共同参画推進条例

（平成 30 年 4 月施行）

5 つの基本理念

① 男女の人権の尊重と参画機会の確保
② 性別で役割を分けるような社会制度や慣行にとらわれない多様な生き方への配慮
③ 方針等の立案及び決定過程への男女共同参画
④ 家庭等生活と職場、学校、地域等の活動との両立
⑤ 国際社会及び国内における男女共同参画の取り組みへの理解と連携

第4次郡上市男女共同参画プラン

（令和 7 年度～11年度）

めざす姿

女（ひと）と男（ひと）がともにいきいきと暮らせる社会

基本目標

Ⅰ 女と男がともに生きる社会に向けた意識づくり
Ⅱ 女と男がともに活躍できる社会づくり
Ⅲ 女と男がともに安全・安心に暮らせる環境づくり

市ではこの条例やプランに基づき、男女共同参画を推進するための事業に取り組んでいます。
次のページでは、具体的な取り組みやイベント情報等をご紹介します。

女性の活躍応援事業

仕事と育児の両立に悩む方や、自分に合った働き方を見つけたい方のサポートを、市民団体のRIBONと共同で行っています。講座やワークショップ、個別相談等の様々な取り組みにより、女性のスタートアップやステップアップを後押します。

【kokokara 無料個別相談】

再就職やライフプランに関する無料個別相談会を開催しています。専門資格を持つスタッフが、相談者のお気持ちに寄り添いながらお話を伺います。

【開催日】令和８年　11月27日、12月25日
令和９年　１月22日、２月26日
（各回金曜日）

※面談時間は応相談、オンライン対応可、秘密は固く守られます。
お申し込みはこちらから ➡

【男女共同参画フォーラムともいきフェア】

平成22年から毎年、女性の活躍応援や男性の家庭への参画、ワーク・ライフ・バランスなど幅広いテーマでフォーラムを開催しています。今年度は「オンライン秘書」をテーマに、多様な働き方に関する講演と意見交換を行います。

【開催日】12月５日（土）　10時～12時（予定）
【会　場】産業プラザ４階　交流ホール
※詳細は今後、郡上市ホームページ等でお知らせします。

女性の活躍応援事業　『kokokara コラム』

kokokara コラムでは、「kokokara 交流サロン」（※）の講師の方々から、様々な視点にて女性の皆様に向けたエールをお届けします。

※kokokara 交流サロン…市内で活動する女性を講師に、様々なテーマのお話を聞きながら、仲間たちと楽しく学び交流する場です。詳細は市ホームページに掲載しています。

９月 kokokara 交流サロン『心を育てる』
講師：三浦　万希子さん（収納整理アドバイザー、心理カウンセラー）

～「本当はどうしたい？」と自分に聞いてみる～

私が片づけを学び始めたきっかけは、仕事も暮らしもいっぱいいっぱいで、「もっと楽にしたい」と思ったことでした。片づけを学び、家や仕事場を整えていくと、探し物が減り、仕事もしやすくなって、毎日の暮らしが少しずつ楽になっていきました。そして片づけをする中で、「これは必要？」「これは好き？」「どこに置いたら使いやすい？」と、自分に問いかけながら選ぶことの大切さに気づきました。

その後、心理学を学び、自分の心にも目を向けるようになりました。そこで、自分が担っている役割を書き出してみたことがあります。「妻」「母」「娘」「嫁」、仕事や地域での役割…。たくさん出てきたのに、そこに「自分」がありませんでした。周りのことを優先するうちに、自分の気持ちを後回しにしていたことに気づきました。

それから私が大切にしているのが、「本当はどうしたい？」と自分に聞くことです。「今日は少し休みたい」「これはやめておこう」「私はこれが好き」。小さなことでも、自分の気持ちに気づき、自分で選ぶ。そうした積み重ねが、自分を大切にすることにつながるのだと思います。家族のこと、仕事のこと、地域のこと。毎日の中には、やることがたくさんあります。そんな日々の中で、時々「本当はどうしたい？」と自分に聞く時間を、私自身も大切にしていきたいと思っています。

コラム企画：RIBON　寄稿：三浦　万希子

問　市民協働課　67-1831